

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人子育て園ぼかぼか 児童発達支援西宮たんぼぼ		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		2024年11月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		2024年11月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とのコミュニケーションが多いこと	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎を保護者をお願いしており、ご家庭の様子や、学校園等での様子を都度伺うようにしている。その際、必要に応じて別途時間を設けてご相談に乗ることで、お一人おひとりに合わせて丁寧に対応するようにしている ・連絡ノートを用意し、書面でも園での様子をお伝えし、ご様子を伺ったり、ご相談事を記載してもらったりしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とのコミュニケーションをさらに密に取っていくと同時に、他事業所や学校園とのコミュニケーションも深めていく。家庭訪問等の強化など、より生活全体を把握していくことで、その子の課題やニーズを適切に捉えるとともに、関係機関の連携を深め、より統一的な支援ができるようにする
2	実体験をする機会が多いこと	<ul style="list-style-type: none"> ・机上やデジタルの学びより、直接触れたり見たり聞いたりしながら学ぶことを大切にしている ・野菜の栽培を行い、日々のお世話、収穫の体験をすること、また実際に調理に携わることで食の広がりへ繋げている ・日々のお散歩や木の葉の制作、植物絵の具での水彩等、自然と接する機会を多く設けている ・手作りのロウソクを使ったクリスマスのお祝い、お正月遊び、お花見散歩等、年間行事を大切に、子どもたちが体験できるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化や、ICT化が進んでいる中でも、まずは実体験で学ぶことが、こどもの基礎を育み、社会生活を支える土台として、必要と考え、時代の変化等に関わらず、一人ひとりに合った方法での実体験の準備を大切にしていく ・専門性の高い観察法への学びを深めながら、ひとりひとりの持つ感覚面により着目し、その子の感じ方を深く理解した支援を行えるように環境面や体験を整えていく
3	生活に密接した支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々変わらない流れの中で、子どもたちの規則正しい生活リズムを大切に、プログラムを計画している ・子どもたちが意欲的に日常生活動作を習得していけるように、地域との交流を大切に、制作や調理を通して手先指先を動かしたり、道具の操作を経験したり、好きなお手伝い活動を通して将来に繋がる家事スキルを高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「クッキング」の活動を今後さらに充実させていくことで、調理にまつわる、芸術活動、地域での買い物を通したコミュニケーション、お金の扱い、計量を通した数の概念理解、ひとつのものをみんなで作り上げる際の物の貸し借りや協力すること等、様々なことを意欲的に学べるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発信力が弱い	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSやHP等の活用が最大限にできていない ・個人情報の管理との兼ね合いで、活動の様子等の発信が難しい場面がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在活用しているInstagramやHPをより工夫して活用していき、ご利用者や、入園を希望される方に知ってほしい情報を発信していく ・新たなSNSツールや発信方法を検討し、開拓していく ・公式ラインの導入を予定。保護者への情報発信もよりスムーズになるように実施していく。
2	子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は保護者会・保護者の集いの実施はできたが、「ペアレントトレーニング」「ペアレントプログラム」の開催ができなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は「ペアレントプログラム」の実施を予定 ・保護者会・保護者の集いを実施することで、保護者同士の交流や繋がりを作れるようにする ・家庭訪問・日々の送迎時のコミュニケーションをさらに工夫していき、ご家族の子育てに関する悩みの解消や、対応力向上に繋がるようにする
3			